

特別解説

のれんの計上の状況等の分析 ～米国及び欧州で上場する企業の場合～（2024年度）

はじめに

2024年度の世界各国の上場企業の財務諸表が、各社のウェブサイトに掲載されて出揃った。本稿では、米国で上場し、米国会計基準を適用する主要な企業と欧州（英国及び欧州大陸）で上場し、国際財務報告基準（IFRS）を適用する主要な企業ののれんの計上の状況等を調査分析することとしたい。なお、よく知られ

ているように、米国会計基準とIFRSでは、のれんは非償却（毎期末及び減損の兆候があるときに減損テストを実施）とされているのに対し、我が国の会計基準では、20年以内の期間にわたって定額償却（それに加えて、減損の兆候がある場合には減損テストを実施）が求められている。

今回調査対象とした企業

まず、米国で上場する主要な企業については、米国ニューヨークの証券取引所で株式を上場し、S&P（スタンダード・アンド・プアーズ）株価指数100（S&P500中、時価総額の特に大きい超大型株100銘柄で構成）に選定されている各社を中心に100社を選定し、選定した各社について、直近期のForm10-K（SECに提出される年次報告書）に掲載されている連結財務諸表を調査した。決算期が異なる企業も一部あるが、2024年12月期決算に係るForm10-Kに織り込まれた連結財務諸表が今回の調査対象の大部分を占めている。

今回調査対象とした主要な米国企業の中には、ゼネラル・モーターズ（GM）やフォード、マクドナルド、バンク・オブ・アメリカ、ウォルト・ディズニーといった歴史や伝統ある老舗

企業を始め、GAFA（グーグル、アマゾン、Meta Platforms（旧社名：フェイスブック）、アップル）に代表される、新興のIT企業も多数含まれている。

次に、欧州（英国及び欧州大陸）で上場する主要な企業であるが、ロンドン証券取引所に上場し、FTSE100の構成銘柄に選ばれている企業を中心に英国で上場する主要な企業100社を選ぶとともに、欧州大陸で上場する企業については、ストックス（STOXX）欧州600指数（注）の構成銘柄に選ばれている銘柄の中から、主要な企業100社を選定した。

（注）ストックス（STOXX）欧州600指数とは、STOXX社（スイス・チューリヒに本拠を置くインデックス・プロバイダー。ドイツ取引所のグループ企業）が算出する、ヨー